



まちの話題お届けします

● 内閣府青年国際交流事業「世界青年の船」

京都府に初寄港！世界の青年が来訪

2/1 世界各地の青年が日本に集い、ディスカッションや文化交流などを通じて、次世代のグローバル・リーダーを育成する事業「世界青年の船」。2月1日から3日間にわたり、日本を含む世界14カ国から約230人の青年が、京都府北部の7市町を訪れました。

与謝野町には約30人の青年が「ちりめん街道エリア」を訪れ、歴史ある町並みのガイドツアーに加え、旧加悦町役場庁舎で手織りと組ひもを体験。観光協会スタッフに教わりながら日本文化を体験した青年たちは、できあがったコースターやミサンガに「色がとても美しく、楽しかった」と、笑顔で感想

を話していました。また、3日には、「ちりめん街道の魅力向上のためにできること」をテーマに参加者同士でディスカッションを行ったほか、山添町長を表敬訪問。プレゼント交換や質疑応答が行われ、青年たちは与謝野町をあとにしました。



手織り体験でコースターをつくる青年たち

● 稲作の豊凶を占う「みょうが祭」

今年は「中稲」が豊作

2/11 みょうがの生育で稲作の豊凶を占う伝統行事「みょうが祭」が、須代神社（明石）で執り行われました。

明治30年ごろから続く本行事。今年は「^{なかて}中生」のみょうがの生育がよく、関係者で五穀豊穰と集落

の安全を祈りました。



須代神社内の「御神田（みょうが田）」のお清めの様子

● 第46回京都府民総合体育大会 市町村対抗駅伝競走 一人ひとりが懸命につないだたすき

2/11 京都府内の駅伝ナンバーワン自治体を決める「第46回京都府民総合体育大会 市町村対抗駅伝競走」が福知山市内で開催され、与謝野町から3チームが出場し、快走を見せてくれました。

御霊公園前をスタートし、三段池公園体育館前をゴールとする8区間（35.9km）で競われた本大会には、「市町村対抗の部」に19チーム、「市町村チャレンジの部」に7チームが出場。与謝野町チームの

選手の皆さんは、昨年11月から練習を重ね、切磋琢磨しながら実力とチームワークを高めてくれました。京都市内の高校・大学で活躍する選手の力も加わり、「市町村対抗の部」で9位、「市町村チャレンジの部」で4位・5位という結果を残してくれました。



両こぼしを強く握りゴールに飛びこむアンカーの時田選手

出場選手の皆さん（敬称略）

市町村対抗の部

第1区 (3.3 km)	佐々木 和代
第2区 (3.0 km)	半海 空垂
第3区 (6.4 km)	平井 迅
第4区 (3.7 km)	廣瀬 捷太
第5区 (6.0 km)	福井 榮
第6区 (3.8 km)	小池 千樹
第7区 (2.7 km)	福井 那
第8区 (7.0 km)	時田 元太

市町村チャレンジの部

北尾 亜弥子	平井 琴加
松本 桃奈	田村 穂帆
榎山 功太	松尾 哲裕
田村 悠惺	和田 珊士朗
河原 林 遼	浪江 亮成
寺立 力	中山 康生
山内 美歩	木崎 柚希
堀井 祥平	安見 一徳



笑顔で記念撮影をする与謝野町チームの選手・関係者の皆さん